

消防しまね

より信頼され役に立つ協会を目指して



公益財団法人 島根県消防協会
会長 松浦嘉昭

明けましておめでとうございます。皆様にはよいお年をお迎えのことと存じます。

さて島根県消防協会は、昨年四月一日、公益法人として、新しい一歩を踏み出しました。そして私は、財団法人時代に引き続き公益法人化した協会の初代会長を務めさせていただくことになりました。誠に光栄に思い、同時に大きな責任を感じています。

振り返れば、豪雪に開けた平成二十三年は、私たち消防、防災にかかわる者にとって、忘れてはならない年になりました。いうまでもなく二万人近い死者、行方不明者を出した東日本大震災の発生した年としてです。
本紙に寄稿をいただいておりますが、震災直後には松江

市南消防署安達署長を隊長とする島根県緊急消防援助隊が現地入りして支援活動を行いました。私も七月に日本消防協会地震等防災対策委員会の委員の一員として仙台市・石巻市・女川町などを訪問し、お話を聞きました。家々は破壊され尽くしており、魚市場の腐臭も激しく、本当に息を呑む惨状でした。
その後復興は著しく進んでいるようですが、失われたものは帰ってきません。改めて、大震災でお亡くなりになった皆様に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また消防使命に殉じられた同志に哀悼の心とともに深い敬意を表したいと思います。さらに秋には紀伊半島に台

風が大きな被害をもたらしました。こうしてみれば、昨年は災害の年であったのかもしれない。国民の安全、安心に対する関心は著しく高まり、「消防」の存在感とそれに対する期待はきわめて大きくなっています。私たちはその期待に応えていかなければなりません。
当協会は、このような考えのもと、消防職・団員が地域を守るための活動を心置きなく行うことができるよう、そして地域の安全、安心を支えるのに十分な力、技術を身につけることができるよう、最大限の努力をしていかなければならないと思っています。
私は、より信頼され役に立つ協会を実現すべく、その先頭に立って全力で進む決意です。多くの課題もありますが、いつそのご理解と力強いご支援をどうぞよろしくお願いいたします。
終わりに、本年が皆様にとって輝かしい発展の年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

十一月十一日(金)、高松市「アルファあなぶきホール」において全国から女性消防団員及び消防関係者二千名が参加し、「集まれ!つなぐれ!女性消防団員」をテーマに第十七回全国女性消防団員活性化香川大会が開催されました。
大会では、全国各地で活躍している四名の女性消防団員の活動事例発表がありました。アトラクション、昼食休憩を挟んで、午後にはまず三消防団からの火災予防啓発劇。コミカルな演技に大笑いしながらいろいろ学ぶことができました。
続いては「かたりすと」平野啓子さんの「語りは心の絵画」語り伝える防災の心」と題した講演。明治時代、取り入れるばかりになっていく稲束を燃やして大津波から村人を救った浜口梧陵の『稲むらの火』をテーマにした迫力のある語りに感動しました。そして最後に「女性消防団員活動の発展に向けて」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。
大会終了後には、情報交換会が開かれ、全国各地から集

第十七回 全国女性消防団員活性化香川大会



平野啓子氏の講演

まった団員同士の交流を深めました。本県からは、松江市消防団、出雲市消防団、安来市消防団、飯南町消防団、吉賀町消防団並びに消防関係者が参加されました。
この大会、来年は秋田県で開催されます。



本県参加者の皆さん

第20回 全国女性消防操法大会 本県代表 松江市女性消防隊 見事10位入賞!

十月十九日、女性消防隊の士気の高揚と消防技術の向上を図ることをねらいとした第二十回女性操法大会が、神奈川県横浜市消防訓練センターで開催され、島根県を代表して松江市女性消防隊が出場されました。

女性消防隊は、松江市消防団本部女性班(愛称カメリア隊)二十九名の中から十名で編成され、一年以上の長期にわたり、仕事が終わった後、あるいは休日返上し、寸暇を割いて訓練に励んでこられました。

大会当日は、風が強く、火点を落とすのに時間を要する隊が出る中、選手は迅速かつ沈着に対応し、計測タイム59・62秒、総合得点75・00点で見事10位に入賞されました。

おめでとうございます。選手の皆様の健闘を讃えますとともに、これまで選手を支えてこられたご家族、



放水する隊員

消防団、消防本部、自治会など関係者の方々のご努力に対し、厚くお礼申し上げます。



表彰式



大会終了後、応援の皆さんと

出場隊員名簿

隊長	角 光 代
指揮者	齋 藤 久 子
1番員	西 田 奈都子
2番員	山 田 弘 子
3番員	太 田 美喜子
4番員	田 村 円 美
補充員	田 中 友 香

(敬称略)

松江市女性消防隊 角隊長のコメント

去る10月19日、第20回全国女性消防操法大会が横浜で開催され、松江市女性消防隊は、10位で優良賞を受賞することができました。当日は、風が強い中選手は日頃の練習の成果を発揮してすばらしい操法を行いました。

これもひとえに消防団長、消防長、消防幹部の方々の御支援と御指導をいただいたおかげだと感謝しております。又、島根県消防協会及び県内の消防関係者の方々に大変にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

今後、松江市消防団女性班は、この大会での経験を生かし、市民の皆様信頼していただける活動をしていきたいと考えております。ご声援ありがとうございました。

第六十三回 島根県消防大会

八月六日(土) 浜田市の島根県立大学講堂で、総務省消防庁長官代理消防技術政策室長仲田忠司様をはじめ、多数の来賓をお迎えし、県下から消防関係者約五百名が出席し、第六十三回島根県消防大会が盛大に開催されました。

大会では、叙位、叙勲、褒章を受けられた方々をはじめ、消防庁長官表彰及び日本消防協会会長表彰受章者の披露を行い、続いて島根県知事表彰、島根県消防協会会長表彰を行いました。各章の受章者、受章団体は次のとおりです。表彰式に続いて、大会決議を採択し、総務省消防庁消防団員確保アドバイザー、東京消

防庁防災部消防団課長鈴木浩永氏から「消防団員確保に向けた取り組みについて」と題して講演をいただきました。

島根県知事表彰

- 表彰旗 西ノ島町消防団
- 功労章 五名
- 永年勤続功労章 百三十八名

表彰状

- 幼年消防クラブ 三団体
- 少年消防クラブ 一団体
- 女性防火クラブ 二団体
- 自主防災組織 二団体

島根県消防協会会長表彰

- 指揮者 安来市消防団
- 特別功績章 三十名
- 功績章 六十四名
- 表彰章 百二十三名
- 勤続章 三百十三名

第55回 島根県消防操法大会

浜田市で技と速さを競う
島根県立大学浜田キャンパスグラウンドに千七百名が来場

八月七日(日)、浜田市の島根県立大学浜田キャンパスグラウンドで第五十五回島根県消防操法大会が開催され、県内八ブロックから選抜されたポンプ車十二隊、小型ポンプ二十三隊が出場し、訓練を重ね習得した団結と技術の成果を競い合いました。

大会には多くの来賓や千七百名を超える来場者を迎え、県民の皆様地域防災の担い手である消防団の存在をアピールすることができました。猛暑の中息詰まる熱戦でしたが、第二十回全国女性消防操法大会に島根県代表として出場する松江市女性消防隊の訓練披



操法大会の様子

露や日立金属安来工場防火隊のオープン参加もあり、会場は大いに盛り上がりました。

この大会で、入賞された出場隊は次のとおりです。優勝隊のうち、ポンプ車の部で優勝した益田市消防団は、来年開催される全国消防操法大会の出場権を勝ち取られました。本県代表として大いに活躍されることを期待いたします。

小型ポンプの部

順位	団体名
優勝	浜田市消防団浜田消防隊
準優勝	浜田市消防団三隅消防隊
第3位	松江市消防団鹿島方面団
第4位	江津市消防団
第5位	松江市消防団宍道方面団

ポンプ車の部

順位	団体名
優勝	益田市消防団
準優勝	松江市消防団玉湯方面団
第3位	飯南町消防団
第4位	奥出雲町消防団
第5位	雲南市消防団木次方面隊

東日本大震災直後に島根県緊急消防援助隊長として宮城県
の被災地に入り支援活動された松江市南消防署安達署長にご
寄稿いただきました。

東日本大震災の支援活動について

松江市南消防署長

安達 真治



三月十二日午前六時十分、
総務省消防庁からの出動要請
を受け、島根県下九消防本部
から消防車両十八台、隊員六
十七名で島根県緊急消防援助
隊を編成し、東北地方へ向け
て出発した。

三月十三日の夕方宮城県仙
台市に到着し野営。十四日の
早朝に仙台市消防局から活動
内容は行方不明者の検索との
指示を受け、午前七時十分に
仙台市若林区の現場へ到着し
た。

我々が活動した場所は海水



中国自動車道勝央SAでの島根県緊急消防援助隊発隊式

が溜まって沼状になっている
ところに沢山の瓦礫や車が散
乱しており、どこから手をつ
けてよいのか判らない状況で
あった。このことは、救助を
待っている人々の殆どが倒壊
した建物内に閉じ込められて
いた阪神・淡路大震災と比べ
て如何に行方不明者の検索活
動が難しいかを物語っていた。
また、隊員数に比較して被災
場所があまりにも広範囲であ
ったことと、車両の進入が出
来ないため徒歩での活動とな
ったこと。更には余震や津波



仙台東部道路仙台ICに集結した島根、
三重、神奈川県の緊急消防援助隊

警報発令等の情報が錯綜し、
その都度一時退避する等活動
制限が強いられため、担当
区域をくまなく検索すること
が出来なかった。
結果的に三月十六日の午前
中まで活動して、十二名の方
を救出したが何れも死亡され
ており非常に残念な思いをし
た。

今回の震災が島根県の緊急
消防援助隊としては初めての
実災害出動ではあったが、緊
急消防援助隊発足以来の訓練
成果もあり、応援活動はスム
ーズに展開できた。また、今
回被災地で活動した経験を基
に、地域住民に対し、津波の
恐ろしさを伝え、犠牲者の死
を無駄にしないよう災害発生
時の被害を軽減するための啓
発活動を行っていくことこそ
が、災害派遣をされた者の務
めではないかと思う。

最後に、震災で犠牲になら
れた皆様方のご冥福をお祈り



仙台市若林区で行方不明者の捜索活動を行
う隊員

するとともに、被災地の方
々が、今回の苦しみ悲しみを乗
り越え、一日も早く笑顔を取
り戻してくれることを心から
願っている。

宮城県女川町で被害状況の説明を受ける
日本消防協会地震等防災対策委員会委員



津波による損壊、その後の火災により
燃え尽くされた門脇小学校（石巻市）

東日本大震災鎮魂レリーフ
が日本消防会館一階に設置さ
れ、十一月二十九日東日本大
震災消防殉職者等全国慰霊祭
に先駆け除幕式が執り行われ
ました。

このレリーフは、史上最大
規模の地震や巨大津波などに
より約二万人の死者・行方不
明者が生じるなど極めて大き
な被害をもたらした東日本大
震災、その危険極まる状況の

中、人命救助など懸命の活動
が続けられたこと、未だかつ
てない多数の消防殉職者のこ
と、これらを決して忘れるこ
とのないよう、また、殉職者
の御霊に対する敬意と哀悼の
念を示し、これからの消防防
災への取り組みの固い決意を
明らかにすることから制作さ
れたものです。

本県の消防団員の皆様方か
らは、震災直後から義援金や
殉職消防団員に対して特別見
舞金をお寄せいただきました。
また、被災地の団員に食べて
ほしいと新米をご提供いただ
きました。皆様方のご支援、
ご協力に対し、誌面をお借り
しまして御礼申し上げます。



東日本大震災

ゼロ災でいこう ヨシ!

S-I-K-Y-T 研修

消防団員の公務災害防止を目的としたS-I-K-Y-T研修(消防団危険予知訓練)を出雲市消防団で十一月七日(月)から十日(木)までの四日間、延べ百二十名の団員が参加され実施しました。

この研修は、民間事業所で行われているKYT(危険予知訓練)研修を消防団にも取り入れ、消防基金の講師の指

導により消防団活動時に潜む危険を予知するとともに、これに適切に対応できる能力を養成し、近年増加している消防団員の公務災害を防止することを目的としたものです。今後ともこれら公務災害防止研修事業を各市町村で実施しますので、是非受講してください。



11月7日(月) 出雲市消防本部大会議室



11月8日(火) 斐川消防署会議室



11月10日(木) 出雲市消防本部大会議室



11月9日(水) 出雲市役所平田支所会議室

平成23年度全国統一防火標語

消したはず 決めつけしないで もう一度

●●● 本年度の主な事業実施状況について (4~11月) ●●●

平成23年

- 4月1日 公益財団法人島根県消防協会発足
- 5月9日 島根県消防協会監査(松江市)
- 5月10日 日本消防協会理事会・代議員会(東京都)
- 6月14日 島根県消防協会臨時理事会(松江市)
- 6月27日 島根県消防協会評議員会(松江市)
- 7月5日~6日 中国四国地区実務担当者会議(松山市)
- 7月14日 島根県消防協会地震等防災対策委員会東日本大震災現地視察(石巻市)
- 8月6日 第63回島根県消防大会(浜田市)
- 8月7日 第55回島根県消防操法大会(浜田市)
- 8月17日 平成23年度中国五県消防関係者大会(松江市)
- 9月6日 日本消防協会理事会(東京都)
- 10月19日 第20回全国女性消防操法大会(横浜市)
- 11月7日 島根県消防協会企画委員会(松江市)
- 11月7日~10日 出雲市消防団S-I-K-Y-T研修(出雲市)
- 11月11日 第17回全国女性消防団員活性化香川大会(高松市)
- 11月29日 東日本大震災消防殉職者等全国慰霊祭(東京都)

ホームページを開設しました。▶ <http://fish.miracle.ne.jp/mukasai/>

消防しまね

江津市消防団 特別表彰『まとい』受章



表彰式

第六十四回（平成二十三年）度日本消防協会定例表彰式が平成二十四年二月二十三日、日本消防会館ニッショーホールにおいて挙行され、江津市消防団が特別表彰『まとい』を受章されました。特別表彰『まとい』は全国二千三百余りの消防団の中から選ばれた、名実ともに我が国最高の消防団に贈与されるものです。

また、表彰式終了後、『縁の



下の力持ち』と題して俳優で農業生産法人代表 菅原文太氏の講演がありました。
なお、この式典に出席された団員の旅費の一部を助成しました。



題字 公益財団法人 島根県消防協会
会長 松浦嘉昭
発行所 松江市東津田町一七四一―三
公益財団法人 島根県消防協会
松江市西川津町六六七番地一
印刷所 松栄印刷有限公司

- 特別表彰まとい 江津市消防団 廣戸 良行
- 功績章
 - 出雲市消防本部 消防監 廣戸 良行
 - 松江市消防団 副団長 福島 要
 - 松江市消防団 副団長 小豆澤正美
 - 浜田市消防団 副団長 徳田 哲治
 - 出雲市消防団 副団長 福岡 義春
 - 出雲市消防団 副団長 石飛 孝夫
 - 益田市消防団 副団長 中島 修司
 - 安来市消防団 副団長 小池 博己
 - 江津市消防団 分団長 竹中 隆佳
 - 奥出雲町消防団 分団長 加藤 弘志
 - 飯南町消防団 副団長 澤田 秀樹
 - 川本町消防団 副団長 本山 廣幸
 - 西ノ島町消防団 副団長 中浜 肇
- 精績章
 - 隠岐広域連合消防本部 消防司令補 村上 和洋
 - 隠岐広域連合消防本部 消防司令補 河本多喜夫
 - 松江市消防団 副団長 石原 浩
 - 松江市消防団 副団長 中倉 生夫
 - 松江市消防団 副団長 山根 章
 - 松江市消防団 副団長 寺本 敏徳
 - 松江市消防団 副団長 石富 成一
 - 浜田市消防団 副団長 下谷 巧
 - 浜田市消防団 副団長 三浦 博志
 - 出雲市消防団 副団長 太田 貴己
- 勤続章
 - 出雲市消防団 分団長 川上 浩生
 - 出雲市消防団 分団長 花田 正信
 - 出雲市消防団 分団長 内藤 建徳
 - 益田市消防団 分団長 因幡 弘一
 - 大田市消防団 分団長 豊田 章夫
 - 大田市消防団 分団長 高木 誠
 - 大田市消防団 分団長 山内 文夫
 - 安来市消防団 分団長 前田 敏光
 - 安来市消防団 分団長 岩田 敏昭
 - 江津市消防団 分団長 澤井 利信
 - 雲南市消防団 副団長 土谷 甲
 - 雲南市消防団 分団長 幸田耕太郎
 - 雲南市消防団 分団長 深石 勇
 - 奥出雲町消防団 分団長 萬田 輝夫
 - 奥出雲町消防団 分団長 松原 三美
 - 飯南町消防団 分団長 奥野 克己
 - 川本町消防団 分団長 上明 幸吉
 - 美郷町消防団 分団長 中原 信登
 - 邑南町消防団 分団長 有江 秀則
 - 津和野町消防団 分団長 藤村 和志
 - 吉賀町消防団 分団長 藤原 久勝
 - 海士町消防団 分団長 村上 幸正
 - 隠岐の島町消防団 分団長 鈴木 光元
 - 松江市消防本部 消防司令 上山 精二
 - ほか百四十一名

平成23年度消防庁長官表彰

平成二十三年度消防功勞者消防庁長官表彰式が平成二十四年三月八日(木)日本消防会館ニッショーホールにおいて挙行されました。なお、この式典に出席された消防団員の旅費の一部を助成しました。本県からの晴れの受章の栄に輝く受章者は次のとおりです。

功勞章

松江市消防団 副団長 岩崎 彦雄
 浜田市消防団 団長 田中 忠昭
 知夫村消防団 団長 金築 輝雄

永年勤続功勞章

松江市消防本部 消防司令 石橋 幸満
 松江市消防本部 消防司令 金坂 茂
 出雲市消防本部 消防司令 山田 勉
 雲南広域連合雲南消防本部 消防監 佐藤 均
 大田市消防本部 消防司令 石賀 好喜
 江津邑智消防組合消防本部 消防監 山崎 章弘
 江津邑智消防組合消防本部 消防司令 田中 昭文
 益田広域消防本部 消防司令 水津 雅夫
 益田広域消防本部 消防司令 俵 眞次
 隠岐広域連合消防本部 消防司令 崎 文夫
 松江市消防団 分団長 吉岡 藤雄
 浜田市消防団 分団長 青葉 秀信

浜田市消防団 分団長 井戸 静志
 浜田市消防団 分団長 大崎 義己
 浜田市消防団 分団長 川崎 崇
 浜田市消防団 分団長 村田 光雄
 出雲市消防団 副団長 石飛 孝夫
 出雲市消防団 副団長 内藤 盛雄
 益田市消防団 副団長 中島 修司
 益田市消防団 副団長 三浦 満
 益田市消防団 分団長 松永 和平
 益田市消防団 分団長 柳井 隆晴
 大田市消防団 副団長 松浦 裕
 安来市消防団 分団長 根来 茂樹
 安来市消防団 分団長 前田 敏光
 江津市消防団 分団長 小川 和洋
 江津市消防団 分団長 藤井 武次
 江津市消防団 分団長 山下 昇
 奥出雲町消防団 副団長 石原 武志
 飯南町消防団 分団長 竹澤 武志
 美郷町消防団 分団長 中原 信登
 邑南町消防団 副団長 日高 浩二
 津和野町消防団 分団長 齋藤 敏夫
 吉賀町消防団 分団長 板垣 安信

第三十八回消防団幹部特別研修及び第十二回消防団幹部候補中央特別研修

一月十七日から二十日まで、日本消防協会主催の第三十八回消防団幹部特別研修が実施されました。この研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団幹部に対し特別研修を行い、消防団の指導者を養成することを目的とするもので、本県からは、大田市消防団 福岡達雄副団長が参加されました。

消防団の幹部として活躍が期待される若い消防団員に対し研修を実施し、将来の消防団幹部を養成することを目的とした、第十一回消防団幹部候補中央特別研修が日本消防会館において実施されました。研修は、各都道府県から男性

消防団員及び女性消防団員が参加し実施されましたが、本県からは男性消防団員の部(二月七日から九日まで)に次の方々が参加されました。

松江市消防団 班長 矢田 奨
 松江市消防団 班長 柿田和男
 松江市消防団 班長 齋田鉄平
 (敬称略)



S-I-K-Y-T (消防団危険予知訓練) 研修

消防団員の公務災害防止を目的としたS-I-K-Y-T(消防団危険予知訓練)研修を次のとおり実施しました。

二月二十六日(日)
 浜田市消防団(浜田市消防本部会議室) 二十八名参加
 三月 四日(日)
 出雲市消防団(出雲市消防本部大会議室) 三十名参加

この研修は、民間事業所で行われているKYT(危険予知訓練)研修を消防団にも取り入れ、消防基金の講師の指導により消防団活動時に潜む危険を予知するとともに、これに適切に対応できる能力を養成し、近年増加している消防団員の公務災害を防止することを目的としたものです。来年度も各市町村で実施します。

平成二十三年度 消防団員 指導員研修

一月二十四日から二十六日まで、平成二十三年度消防団員指導員研修を島根県消防学校で実施しました。

研修は、二泊三日の泊まり込みで行い、防災担当指導員として必要な知識・技術の修得など幅広い研修になりました。なお、研修には、松江市一名、浜田市二名、出雲市四名、大田市二名、奥出雲町一名の計十名の消防団員が参加されました。



平成二十四年度事業計画

平成二十四年度の主要事業について、お知らせします。

公益目的事業

一、消防思想の普及徹底を図る事業

- (1) 島根県消防大会
 - ・ 第六十四回島根県消防大会
 - 期日 八月四日(土)
 - 場所 カルチャープラザ仁多
- (2) 表彰事業
 - ・ 消防大会での消防団員、消防職員、消防協力者、協力団体等の表彰
 - ・ 第六十五回日本消防協会定例表彰式
 - 期日 平成二十五年二月二十六日(火)
 - 場所 日本消防会館 ニッショール

(3) 消防殉職者慰霊祭

- ・ 第三十一回全国消防殉職者慰霊祭
- 期日 九月十三日(木)
- 場所 日本消防会館 ニッショール

(4) その他の事業

二、消防知識・技能の向上を図る事業

(1) 島根県消防操法大会

- ・ 消防操法審査員講習会
- 期日 四月二十五日(水)～二十六日(木)
- 場所 島根県消防学校
- ・ 第五十六回島根県消防操法大会
- 期日 八月五日(日)
- 場所 横田公園陸上競技場

(2) 消防団員等資質向上研修

- ・ 消防団体長研修会
- 期日 七月中旬
- 場所 松江市
- ・ 消防団員指導員研修
- 期日 平成二十五年一月九日(水)～十一日(金)

- 場所 島根県消防学校
- ・ 中国五県消防関係者大会
- 期日 八月一日(水)
- 場所 鳥取市
- ・ 第三十九回消防団幹部特別研修
- 期日 平成二十五年一月十五日(火)～十八日(金)
- 場所 日本消防協会(東京都)
- ・ 第十二回消防団幹部候補者中央研修
- 期日 男性消防団員の部

平成二十五年二月五日(火)～七日(木)

- 女性消防団員の部
- 平成二十五年二月十三日(水)～十五日(金)
- 場所 日本消防協会(東京都)
- 公務災害防止研修(S-KY-T研修等)
- 期日 随時
- 対象 各市町村消防団
- ・ 消防団地域防災力向上研修
- (3) その他の事業
- ・ 第二十三回全国消防操法大会
- 期日 十月七日(日)
- 場所 東京都臨海広域防災公園
- ・ 健康増進器具配置事業

三、消防防災活動の強化を行う事業

(1) 全国消防操法大会出場助成事業

- ・ 島根県女性消防団員活性化推進大会助成事業
- ・ 第五回島根県女性消防団員活性化推進大会
- 期日 二月十七日(日)
- 場所 浜田市

(2) 島根県女性消防団員活性化推進大会

- ・ 消防広報誌発行事業
- 「消防しまね」を年一回発行 各一四、〇〇〇部
- (4) しまね消防団活性化総合助成事業
- 消防団活動環境整備
- 消防操法大会条件整備

(5) その他の事業

- ・ 第十八回全国女性消防団員活性化大会
- 期日 十一月十六日(金)
- 場所 秋田市
- ・ 消防庁長官、日本消防協会会長表彰受章者に対

収益事業等

- (1) 島根県水難救済会の受託事業
- (2) 会員の福利厚生事業
- 消防団員福祉共済事業、消防互助年金事業、消防団員弔慰救済事業

する旅費助成事業

実施事業について

平成二十三年十二月から平成二十四年三月までに実施した事業をお知らせします。

平成24年

1月17日～20日

第38回消防団幹部特別研修(東京都)

24日～26日

平成23年度消防団員指導員研修(松江市)

2月7日～9日

第11回消防団幹部候補中央特別研修

男性消防団員の部(東京都)

第2回企画委員会(松江市)

8日

第64回島根県消防大会・第56回島根県消防操法大会第1回実行委員会(奥出雲町)

14日

都道府県消防協会事務局長会議(東京都)

16日

日本消防協会役員会・代議員会(東京都)

23日

全国消防大会・第64回日本消防協会定例表彰式(東京都)

26日

浜田市消防団S-KY-T研修(浜田市)

3月4日

出雲市消防団S-KY-T研修(出雲市)

11日

全国女性消防操法大会出場隊ヒヤリング(浜田市)

21日

平成23年度第3回理事会(松江市)

